

こどもたちへのお便り

～ 2025 年 7-8 月 ～

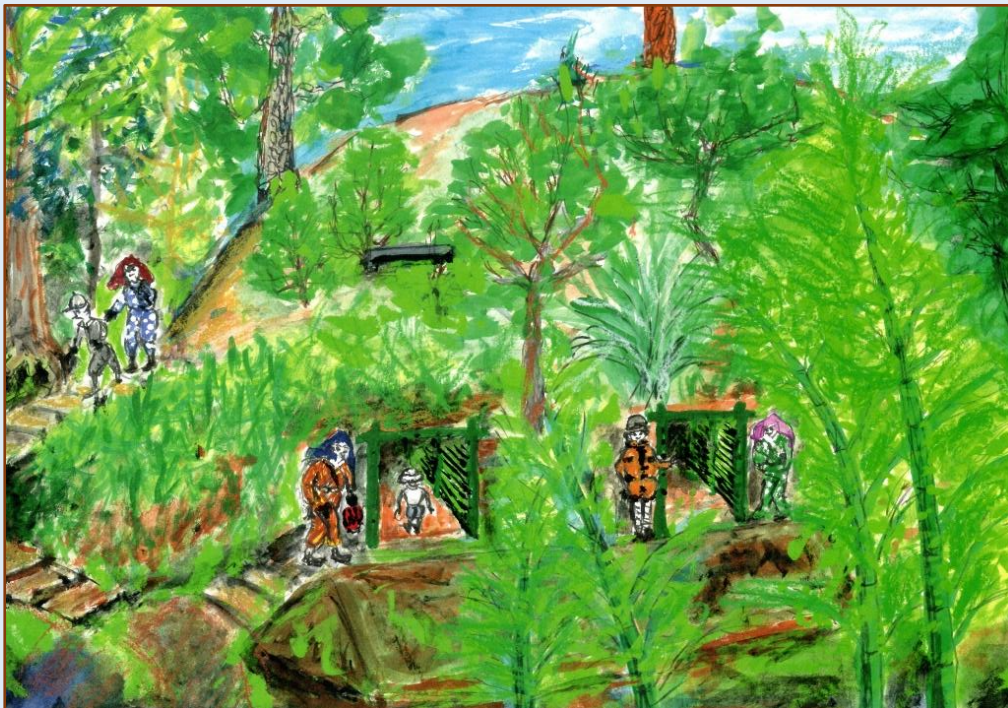
〈ご紹介〉

教会では、夏になると戦争や平和のことが話題になっていました。

アメリカとの戦争が 1941 年 12 月に始まりましたが、私は同年の 6 月に水戸で生まれました。

この本は、幼い時に見たことや感じたことを教会で連続して話すことができましたので、まとめたものです。

ぼう ぐう ごう 防 空 壕



この絵の防空壕は、小さな丘の下にコの字型に掘り、近くに茂っていた竹で内装したものです。サイレンにより昼夜間はず避難しました。戦争が終わっても、中でよく遊びました。（絵の完成日不明）

ぎんこう や ね や お
銀行屋根の焼け落ち



み と だいこうしゅう ねん がつ
水戸の大空襲は、1945年8月1～2

にち
日で、アメリカのボーイング B-29 は、
なんかい はこ ばくだん しょういだん あめ
南海から運んできた爆弾や焼夷弾を雨
のようにばらまきました。焼夷弾は物に
しょういだん もの
付着して、建物などを焼却しました。
ふちゃく たてもん しょうきやく
商店街の銀行は、屋根が焼け落ちた
じぶん み
とのことでした。このことは自分で見た
や お
のではないので、焼け落ちたものとして
ひょうげん じたくふきん や
表現しました。自宅付近も焼けました。
みち ぼうくうごう ひなんけいろ
この道は防空壕への避難経路です。

み と だいこうしゅう ふしょうしゃ
水戸大空襲の負傷者

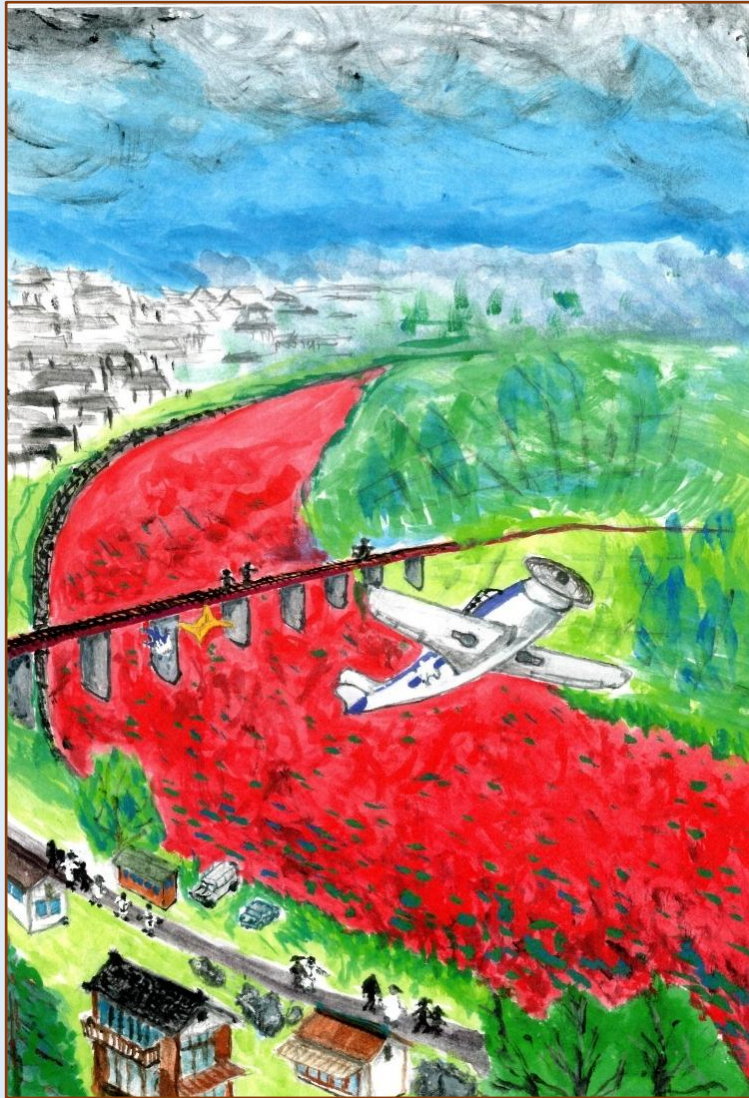


水戸大空襲の負傷者
1945年8月頃（終戦時）

2013.7.13 作

どこでケガされたかわかりませんが、たぶん
火事の消化活動でしょう。
じぶん ようじ
自分はまだ幼児でしたので、みただけで
す。ホウタイ姿が痛そうでした。
みぎがわ にはん もんちゅう
右側の二本の門柱は、じょうぶ
上部だけが黒焦
げでした。「なぜかなあ」とおもいました。

み とくうしゅう ひげき
水戸空襲の悲劇



この絵は自分が見たものではなく、
「水戸空襲戦災誌」に載っていたもの
です。

アメリカとの戦いが最終となり、
B-29 からの爆弾と焼夷弾(高熱で燃
える薬剤入り)が水戸の市街地を大火事
にしました。

那珂川が赤くなっているのはそのせ
いです。この風景は中学校時代と同じ
眺めです。

中央のグラマン戦闘機は、橋上か
ら一人の人を火の川に落としました。

せんご あそ
戦後の遊び



戦後焼け跡はすぐきれいになって、
夕方までよく遊びました。ただ、大
きな金庫は重くて残ったようです。

パウロのフィリピの信徒への手紙から
1 章



27 ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい。そうすれば、そちら
に行^いってあなたがたに会^あうにしても、離^{はな}れているにしても、わたしは次^{つぎ}のこと
を聞^きけるでしょう。あなたがたは一つ^{ひと}の霊^{れい}によってしっかり立^たち、心^{こころ}を合^あわせ
て福音の信仰のために共に戦^{たたか}っており、^{ふくいん しんこう} 28 どんなことがあっても、反対者^{はんたいしや}た
ちに脅^{おど}されてたじろぐことはないのだと。このことは、反対者^{はんたいしや}たちに、彼ら自身^{かれ じしん}
の滅^{ほろ}びとあなたがたの救^{すく}いを示^{しめ}すものです。これは神^{かみ}によることです。

以上^{いじょう}のようなことは、牧師^{ぼくし}からていねいに教^{おし}えていただいています。
イエス様^{さま}と神様^{かみさま}に励^{はげ}まされつつ歩^{あゆ}みましょう。

